

第5回 協議会 (11月12日) 場所：大浦小学校



第5回協議会では、(株)JT総合研究所から来訪経験者向けアンケート、市民向けアンケート（速報版）についての報告が行われました。来訪者のニーズや住民の意識など、興味深い調査結果が明らかになりました。後半は、旧長崎英国領事館の活用計画（案）について文化財課より説明をもらい、活発な議論が行われました。旧長崎英国領事館は、中心市街地側からの居留地の入り口になる、重要な施設ですので、今後も意見交換をしていきたいと思えます。

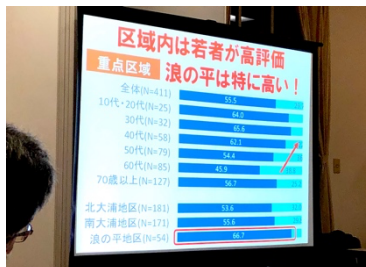


- 旧長崎英国領事館の活用計画（案）
- <基本方針>
 - ・重要文化財としての価値や歴史等の情報発信
 - ・民間活力を導入、地域活性化に寄与する活用
 - ・バリアフリー設備などの整備
- <主な機能>
 - ・情報発信機能
 - ・地域活性化・交流拠点機能

第6回 協議会 (12月9日) 場所：南山手地区町並み保存センター



第6回協議会では、冒頭、長崎県より松が枝埠頭の2バス化に関する進捗説明がありました。これについては、県が別途設ける「意見交換会」の中で、詳細を議論していくとのこと。市民アンケートの最終報告では、世代によって住民の暮らしの満足度に差があることなど、より具体的な結果が得られました。後半は、来訪者・住民の目線でエリアごとの資産と課題を大きな地図に書き出していきました。エリアごとの課題や、性格が明確になり、ビジョンづくりに繋がる回となりました。



歴史まちづくりに関するお問い合わせ 長崎市景観推進室 (電話) 095-829-1177

- 市民アンケート結果の抜粋
- ・居留地の住環境の良さは外部に十分伝わっていない
- ・暮らしの満足度は、若者の方が高齢の方より高い
- ・浪の平の暮らしの満足度は特に高い
- ・居留地の魅力は、眺望の良さ、観光施設、歴史などが上位



長崎居留地

歴史まちづくり協議会ニュース!

発行日：令和3年1月1日
発行：長崎居留地歴史まちづくり協議会

新年あけましておめでとうございます！
昨年スタートした長崎居留地歴史まちづくり協議会について報告します。



長崎居留地歴史まちづくり協議会スタート



「長崎居留地歴史まちづくり協議会」とは？

令和2年3月に市が策定する長崎市歴史的風致維持向上計画が国に認められ、長崎居留地エリアが「重点区域」として設定されました。これを機に、地域コミュニティとも連携しながら、長崎居留地の各主体間の連絡調整や合意形成を図り、地域の営みと観光の賑わいが共生できる新たなまちづくりを推進して行くことを目的として、8月に「長崎居留地歴史まちづくり協議会」を設立いたしました。今年度は、歴史を生かしたまちづくりのグランドデザインとなる「歴史まちづくり計画」の作成を進めています。来年度以降、この計画を基にして規制緩和や洋館活用、情報発信などの具体的な取組みに着手します。今後は、この「協議会ニュース！」にて、定期的に協議会の進捗を皆さんにお伝えします。



大浦くんちの神輿



世界遺産・旧グラバー住宅

協議会参加団体

- ・北大浦地区連合自治会
- ・南大浦地区連合自治会
- ・浪の平地区連合自治会
- ・大浦青年会
- ・浪の平青年会
- ・東山手地区町並み保存会
- ・南山手地区町並み保存会
- ・大浦小学校PTA
- ・梅香崎中学校PTA
- ・梅香崎中学校区青少年育成協議会
- ・海星高等学校
- ・活水女子大学
- ・長崎居留地まつり実行委員会
- ・南山手地区観光推進協議会
- ・オランダ通りマップ制作委員会
- ・グラバー園
- ・(公財)長崎孔子廟・中国歴代博物館
- ・旧香港上海銀行長崎支店記念館
- ・長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム
- ・斜面地・空き家活用団体つくる

第1回 協議会 (8月3日)

場所：大浦地区公民館



第1回協議会では、長崎市からの歴史まちづくりに関する説明の後に設立総会を開催しました。役員、会則、事業計画、予算について話し合い、8月3日をもって協議会が設立されました。会長は桐野さん(居留地まつり実行委員会)、副会長は永尾さん(梅中校区育成協)となりました。委員には居留地に関わる住人、事業者、関係団体など幅広い団体で構成しています。

<桐野会長よりメッセージ>



長崎居留地の歴史文化は、長崎市の象徴です。地域・行政・事業者で協力し、これからの長崎市のモデルになるような新しいまちづくりに挑戦しましょう！



第2回 協議会 (9月23日)

場所：大浦小学校



河野まゆ子氏

第2回協議会の前半は、長崎市より、長崎居留地エリア周辺の歴史まちづくりに関する出来事について説明してもらいました。後半は、長崎市が歴史まちづくり計画策定支援業務を委託している(株)JTBC総合研究所の河野氏より、歴史を生かしたまちづくりの全国事例や考え方などについて講演していただきました。また、計画策定に向けて、来訪経験者や市民向けのアンケートを作成してデータを収集することも紹介されました。

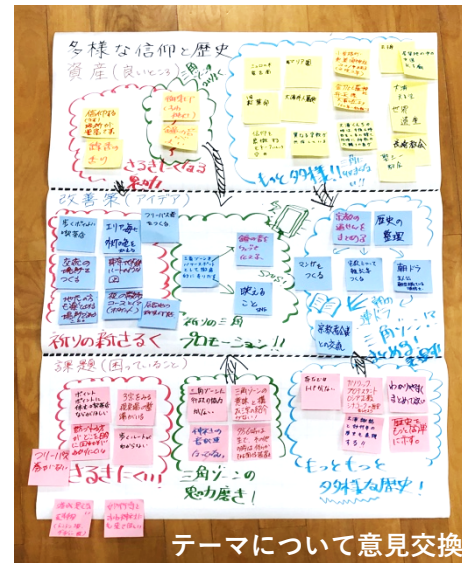
<委員からの感想>

- 内部の人には分からないこともあるので、外部の人(専門家や観光客)の意見を取り入れていくことが重要。
- 弘前市のように市長が変わることでもまちづくりの計画が頓挫することがないように進めて欲しい。



第3回 協議会 (10月15日)

場所：大浦小学校



テーマについて意見交換

第3回協議会では、長崎市から歴史まちづくりに関するエリア内の最近の取り組みや課題の説明後、ワークショップ形式で歴史的風致に関わる4つのテーマについて資産(良いところ)・課題・アイデアを模造紙に出していただきました。模造紙に貼り切れないほどの意見が出て、とても活発な議論がされました！祈りの三角ゾーンのPR、地域と連携した学校づくり、氏子少年部をつくる、洋館を活用したチャレンジショップなど、未来のまちづくりに向けた具体的な意見が多く出されました。

<話し合った4つのテーマ>

- 歴史的建造物とまちなみの保存・活用
- ミッション・スクールと地域
- 多様な信仰と歴史
- 大浦くんちと暮らし



第4回 協議会 (11月1日)

場所：旧スタイル記念学校(グラバー園)

第4回協議会では、これまでに地域で策定した「北大浦小学校跡地の活用計画」や、「浪の平まちづくり計画書」の内容を共有しました。その後は、浪の平地区を実際に歩いてまわり、地域の資源や課題を確認しました。また、空き家の再生を研究する海星高校の学生さん10名が初めて参加してくれました。小曾根乾堂さんのお墓や、金刀比羅神社など、普段なかなか行かないところを見ることができて、有意義な時間となりました。



グラバー・ツルさんのお墓



東琴平からの眺め